

お客様からのお預かりデータを暗号化管理

■DataClasys導入事例■

業種	機密区分	顧客のリスクと要望
電気機器メーカー	機密図面	お客様より図面を含む設計データをお預かりする際、データ受信時自動的に暗号化しファイルサーバで管理する。特定のメンバーのみがデータにアクセス、設計業務を行なう。 現状、特に海外メーカーなどセキュリティが確保された環境でなければ取引も行わないとするところもあり、本環境の構築となった。 設計業務でセキュリティを確保したまま対応できる暗号化・DRM製品を採用し、設計ファイルの安全性を確保することによりお客様へも安全性をアピールしたい。

対策の骨子	社内、出張者も含めて設計データの外部流出、漏洩を防止管理することを最終目標にDataClasysを導入した。設計データは専用PCにて受信、ファイルサーバにて暗号化したまま管理している。社内の特定グループのみアクセス可能としメンバーにDataClasysを導入、メンバー以外暗号化した設計データを扱えないようにした。
具体策	今回、専用回線網で設計データを受信専用PC経由で受取り、暗号化したままファイルサーバで管理することとした。 社内の特定メンバーだけが、受信時に暗号化された設計データにアクセスし、設計業務を行なう。
効果	セキュリティの確保は、これまで運用で対応していたが、DataClasysの導入によりセキュアな環境での運用管理が可能になった。 従来は、暗号化されていない状態の設計データが社内でも運用されていたが、暗号化されたファイルは権限のある人しか操作できないので、セキュリティレベルが大きく向上した。

